

視聴票（3）あなたはみんなが幸せに生きるために何ができるか？①②

第5回のまとめ（約400字）

「あなたはみんなが幸せに生きるために何ができるか？～ようくん＋ルートくんの場合～」

「福祉＝みんなが幸せに生きるために何ができるか」というテーマを、映画好きのようくんと演劇部のルートくんの探究を通して考えた。2人はまずステップ①で「世界中の人人が楽しむために、エンターテイメントを学びたい」と課題を立て、映画の表現方法を本や知り合いへのインタビューで学ぶ。しかし「学ぶだけでは人を幸せにできない」と気づき、ステップ②では「誰かのためにエンターテイメント作品を作りたい」と自分たちで作品制作に挑戦する。作品は完成するが、見てもらえないままのままにならない。そこでステップ③では「楽しんでもらうために、自分の作品を見てもらいたい」と課題を更新し、自主制作作品が日の目を見る方法をネットで調べ、最終的に学園祭で上映することを目指す。ワークシートや図（1ページ目の階段状の図）では、課題を深めながらステップを上がっていく様子が示され、さらにオンラインでのペア探究の工夫も紹介されていた。

課題設定シート 回答例

例1

①わたしの課題：私なら 入院している子どもたちのために 病院でも楽しめるオンライン映画会を開きたい。
②何を：小児病棟で許可されている娯楽活動の内容。

どのような方法で：病院のホームページやパンフレットを調べ、ボランティア担当にメールで質問する。

③考察・新たな課題：衛生面や著作権など守るべきルールが多いと分かった。次は、個人の端末で見られる無料配信や、短編アニメを紹介するだけでも支えになるのかを調べてみたい。

例2

①わたしの課題：わたしなら 発達障害のある子どもたちのために、音や光に配慮した映画・演劇の楽しみ方を広めたい。

②何を：「ユニバーサル上映」や「バリアフリー演劇」の工夫。

どのような方法で：ネットで事例を検索し、字幕・音量・照明の工夫についてまとめる。

③考察・新たな課題：ちょっとした配慮で「参加しづらい人」が参加できると分かった。次は、自分の学校の文化祭でも音量や照明に配慮できないか、実行委員に相談したい。

例3

①わたしの課題：わたしなら ひとり親家庭の子どもたちのために、無料で楽しめる映画・アニメ情報をまとめて届けたい。

②何を：無料または低料金で利用できる配信サービスや上映会。

どのような方法で：図書館や児童館のイベント、自治体のHPを調べて一覧を作る。

③考察・新たな課題：情報がバラバラで、知っている人だけが得をしていると感じた。次は、学校の掲示板やSNSを使って、誰でも見られる「しあわせ情報コーナー」を作れないか考えたい。

例4

①わたしの課題：わたしなら 部活や学校生活に疲れている同世代のために、気持ちが軽くなるショート動画を

作りたい。

②何を：10代向けメンタルヘルス啓発動画の内容と雰囲気。

どのような方法で：自治体やNPOが作っている動画を視聴し、良い点をメモする。

③考察・新たな課題：あまり説教くさい内容より、「自分も同じ」と感じられる動画が届きやすいと分かった。

次は、学校の保健室の先生に話を聞き、悩んだときの相談先も動画内で紹介したい。

例5

①わたしの課題：わたしなら 視覚障害のある人のために、映画の音声ガイドづくりについて知りたい。

②何を：音声ガイドの作り方と、ボランティア参加の仕組み。

どのような方法で：「音声ガイド ボランティア」でネット検索し、団体のHPや動画を調べる。

③考察・新たな課題：「映像を言葉で伝える」ことは、国語力や想像力も必要だと分かった。次は、自分の好きな映画の1シーンで試しに音声ガイド文を書き、友達に感想を聞いてみたい。

例6

①わたしの課題：わたしなら 孤独を感じている高齢者のために、地域の上映会やおしゃべり会を企画したい。

②何を：自治体や社協が行っているサロン活動の内容。

どのような方法で：社会福祉協議会のHPや広報紙を読み、担当者に電話で質問する。

③考察・新たな課題：映画そのものだけでなく、「誰かと一緒に感想を話す時間」が幸福感につながると感じた。次は、高校生ボランティアとして参加できる既存の場がないかを探したい。

例7

①わたしの課題：わたしなら コロナ禍の時のように外出しづらい状況になった人たちのために、オンラインで参加できる文化イベントを広めたい。

②何を：オンライン演劇・配信ライブ・バーチャル美術館などの取り組み。

どのような方法で：文化庁や自治体、劇場のサイトを調べて一覧にする。

③考察・新たな課題：配信があっても「知られていない」ことが多いと分かった。次は、学校のホームルームやSNSで「今月のおすすめオンライン文化イベント」を紹介してみたい。

例8

①わたしの課題：わたしなら 日本語がよく分からぬ外国人のために、映画や動画の多言語字幕の仕組みを知りたい。

③何を：クラウド翻訳やボランティア字幕制作の例。

どのような方法で：ネットで事例を調べ、言語ボランティア募集情報を探す。

③考察・新たな課題：一人では全てを翻訳できないが、多くの人が少しづつ参加する仕組みがあると分かった。次は、英語が得意な友達と一緒に、短い動画の字幕づくりに挑戦したい。

例9

①わたしの課題：わたしなら 学校に馴染めない生徒のために、文化祭で安心して過ごせる「静かなスペース」を作りたい。

④何を：他校の文化祭での「クールダウンルーム」や配慮の事例。

どのような方法で：ネット検索で事例を調べ、先生に相談する。

③考察・新たな課題：にぎやかな場が苦手な人もいるのに、今は「楽しめない人」が取り残されているかもし

れないと気づいた。次は、保健室や図書室と連携して実現可能な形を考えたい。

例 10

①わたしの課題：わたしなら 貧困や病気で外出できない人のために、無料で見られる自作ショートムービーを配信したい。

⑤ 何を：個人で作った作品を安全に公開できるサイトや注意点。

どのような方法で：動画共有サイトの利用規約を読み、個人情報や著作権のルールを調べる。

③考察・新たな課題：誰でも見られる反面、誹謗中傷などのリスクもあると分かった。次は、コメント欄の設定や視聴対象を限定する方法を調べ、安心して楽しめる場を作りたい。

第6回のまとめ（約400字）

「あなたはみんなが幸せに生きるために何ができるか？～あやちゃん+りんちゃんの場合～」

テーマは「福祉＝みんなが幸せに生きるために何ができるか」。料理が好きなあやちゃんと、その探究を支えるりんちゃんは、ステップ①で「ひとりで料理ができない人のために、料理をふるまいたい」と課題を設定する。まず、本やネットで「ひとりで料理ができない人」とはどんな人かを調べ、高齢者や障害のある人、病気の人、育児や仕事で時間がない人など、さまざまな事情があることを知る。ステップ②では、料理をふるまえる団体をネットで探し、介護施設の料理ボランティアに参加しようとするが、コロナ禍で校外活動が中止となり断念。そこでステップ③では発想を転換し、「介護をしている人のために、介護食のレシピを作つてサイトにのせたい」と課題を深める。2人はレシピ本・ネット・電話インタビューを通して情報を集め、実際に調理して介護食レシピを完成させる。さらに互いのレシピを交換して評価し合うことで質を高め、レシピサイトに公開するまで到達した。解説では、「できないなら別のアプローチを考えること」や、「第三者に評価してもらうこと」が探究と“生きる力”につながると強調されていた。

課題設定シート 回答例

例 1

① わたしの課題：わたしなら 高齢者のために、家にある食材で簡単に作れるやわらかいレシピを集めたい。

② 何を：噛む力が弱くても食べやすい料理と栄養バランス。

どのような方法で：図書館で高齢者向け料理本を借り、管理栄養士が監修したサイトも調べる。

③考察・新たな課題：「やわらかい=栄養が足りない」わけではないと知った。次は、祖父母に実際に作って感想を聞き、高齢者本人の「おいしさ」の基準も確かめたい。

例 2

①わたしの課題：わたしなら 忙しい親のために、子どもと一緒に10分で作れる節約レシピを考えたい。

② 何を：安く栄養がとれる食材と、子どもでも手伝える簡単な工程。

どのような方法で：家計支援NPOのサイトやレシピ本を調べ、実際に自宅で試作する。

③考察・新たな課題：時間・お金・体力が同時に足りない状況では、「完璧な料理」より「一緒に作る楽しさ」が福祉になると感じた。次は、子どもでも安全にできる作業の工夫をまとめたい。

例 3

①わたしの課題：わたしなら 食物アレルギーのある子どものために、みんなと同じように楽しめるおやつレシピを知りたい。

③ 何を：卵・乳製品・小麦を使わないおやつの作り方。

どのような方法で：アレルギー対応レシピサイトや病院の資料を調べ、必要なら専門医監修の本も読む。

③考察・新たな課題：「代替食材」を選ぶとき、栄養や価格も考えなければならないと分かった。次は、クラス会や学級レクで出せるメニューとして、先生に提案できる形にまとめたい。

例4

①わたしの課題：わたしなら 一人暮らしの大学生や若者のために 自炊初心者向けの超基本レシピをまとめたい。

③ 何を：ガスコンロに不慣れでも安全に作れる料理。

どのような方法で：大学生向けの生活本や動画を調べ、火加減・保存方法の注意点をメモする。

③考察・新たな課題：レシピ以前に「安全に火を扱う」「食中毒を防ぐ」知識が重要だと気づいた。次は、調理前のチェックリストを作り、家庭科の授業で使えないか考えてみたい。

例5

①わたしの課題：わたしなら 病気や障害で飲み込みにくい人のために、トロミのつけ方や形を変える工夫を学びたい。

②何を：嚥下食（えんげしょく）の基本と、家庭でできる範囲。

どのような方法で：言語聴覚士や栄養士が発信している情報をネットで調べる。

③考察・新たな課題：見た目は普通の料理とあまり変わらなくても、安全性が全然違うことが分かった。次は、写真付きで「安全な状態／危険な状態」を比較できる資料を作りたい。

例6

①わたしの課題：わたしなら 経済的に厳しい家庭のために、フードバンクや子ども食堂の仕組みを知りたい。

②何を：地域のフードバンク・子ども食堂の場所と支援内容。

どのような方法で：自治体や社会福祉協議会のHPを確認し、ボランティア募集情報も見る。

③考察・新たな課題：「助けて」と言い出しにくい人が利用しやすい工夫が大事だと感じた。次は、学校でさりげなく情報を伝える方法（保健だより・掲示など）を考えたい。

例7

①わたしの課題：わたしなら 認知症の人と家族のために、一緒に楽しめる簡単おやつづくりを調べたい。

②何を：手順が少なく、失敗しにくいレシピ。

どのような方法で：認知症カフェや家族会のサイト、介護雑誌のレシピ特集を調べる。

③考察・新たな課題：味だけでなく「混ぜる」「丸める」などの作業そのものがコミュニケーションになると分かった。次は、手順書を大きな文字とイラストで作る工夫を考えたい。

例8

①わたしの課題：わたしなら 視覚障害のある人のために、音声だけで伝わるレシピの作り方を知りたい。

②何を：音声読み上げソフトに対応したレシピや、点字レシピの事例。

どのような方法で：点字図書館や視覚障害者団体のHPを調べる。

③考察・新たな課題：「大さじ1」などの表現も、計量スプーンの形や音で分かる工夫があると知った。次は、スマホで録音した音声レシピを試作し、家族に聞いてもらって分かりやすさをチェックしたい。

例9

- ①わたしの課題：わたしなら 日本語が得意でない外国人のために、絵とやさしい日本語で書かれたレシピカードを作りたい。
- ②何を：やさしい日本語の書き方と、絵で伝えやすい手順。
- どのような方法で：やさしい日本語のガイドラインを調べ、国際交流協会で相談する。
- ③考察・新たな課題：漢字を減らし、短い文にしても、写真やイラストを加えれば十分伝わると分かった。次は、実際に外国人の人に見てもらい、どこが分かりにくいかフィードバックをもらいたい。

例10

- ①わたしの課題：わたしなら 食事づくりに負担を感じている家族全員のために、みんなで分担できる「家族ごはんシフト表」を作りたい。
- ②何を：家族での家事分担の工夫と、子どもでもできる調理作業。
- どのような方法で：家庭科の教科書や家事シェアの記事を読み、家族にインタビューする。
- ③考察・新たな課題：料理そのものだけでなく、「一人に家事が集中しない」ことも福祉だと感じた。次は、自分の家で試しにシフト表を運用してみて、続けるコツをまとめたい。